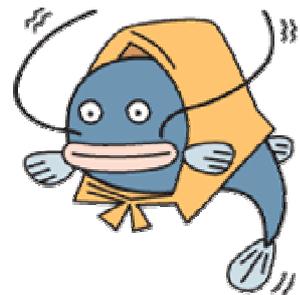


緊急地震速報 なまずきん

マンスリー レポート 2011年 5月号



発行元 株式会社 ハレックス

緊急地震速報(警報)が発表された時は地震が発生！ ～ 気象庁 ～ 強い揺れから身を守る行動を呼びかけ

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震以降、緊急地震速報(警報)が適切に発表できない原因の分析結果および緊急地震速報(警報)の発表状況については、本レポート2011年3月号でご紹介したところですが、気象庁は、4月28日までの発表状況を第2報として公表しました。

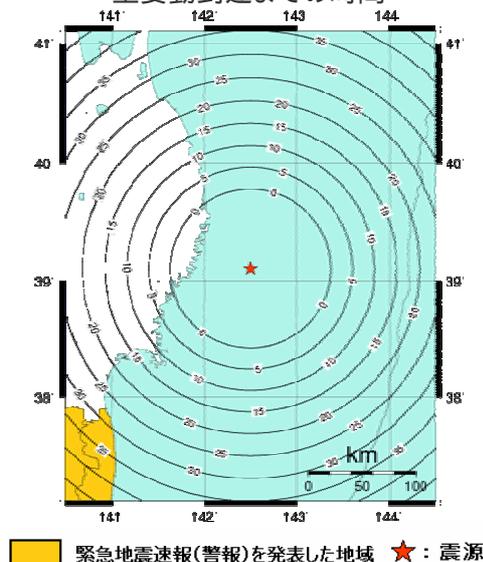
緊急地震速報(警報)が適切に発表できていない事例もありますが、東北地方太平洋沖地震以降の70事例中26事例については、概ね適切に緊急地震速報(警報)を発表できているとして、「緊急地震速報(警報)が発表された場合には地震が発生しているので、強い揺れから身を守る行動をとってほしい」と呼びかけています。

東北地方太平洋沖地震以降の発表状況(平成23年4月28日12時現在)

1. 東北地方太平洋沖地震以降、最大震度5弱以上を観測した地震46回のうち、約57%にあたる26回に対し緊急地震速報(警報)を発表しています(東北地方太平洋沖地震の前は、約56%(18回のうち10回))。
2. 東北地方太平洋沖地震以降、緊急地震速報(警報)を発表した70回のうち約63%にあたる44回において、発表した地域の中で震度2以下となった地域がありました。
(東北地方太平洋沖地震の前は、約29%(17回のうち5回))
この44回のうちの17回では、発表した全地域で震度2以下しか観測されませんでした。
(東北地方太平洋沖地震の前は、1回)
3. 適切に発表できなかった原因としては、異なる場所でほぼ同時に発生した複数の地震を一つの地震として処理した事例が32回、そのほか、停電や通信回線の途絶のため緊急地震速報のデータ処理に使用できる地震計の数が減少したことや、震源の推定、震度の予想の誤差などによる事例が12回でした。

ました。
(注) 評価に使用している観測した震度については、暫定値を使用していますので、後日、修正する場合があります。

【適切に発表できなかった事例
(4月15日23時34分福島県沖)】
緊急地震速報(警報)を発表した地域及び
主要動到達までの時間



緊急地震速報(警報)は最大震度5弱以上と予想したとき、震度4以上となると予想した地域に対して発表していますが、震度の予想については1階級程度の誤差を見込んでいることから、発表した地域内で震度3以上を観測した場合を適切と評価し

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震以降の緊急地震速報(警報)発表状況

	月日	時分	緊急地震速報(警報) 発表の際の震央地名	緊急地震速報(警報)を 発表した 地域の数	実際に観測した 最大震度毎の地域の数				すべての 地域 で震度 2以下	
					震度5弱 以上	震度4	震度3	震度2 以下		
1	3月11日	14時46分	宮城沖【平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震】	12	12	0	0	0		
2		17時42分	福島県	4	2	2	0	0		
3		19時36分	福島沖	23	0	1	4	18		
4	3月12日	3時12分	茨城沖	3	0	0	3	0		
5		3時59分	新潟県	8	4	1	3	0		
6		4時09分	茨城沖	4	0	1	3	0		
7		4時16分	新潟県	7	0	0	2	5		
8		4時32分	栃木県	45	1	3	2	39		
9		5時12分	新潟県	6	0	0	0	6	×	
10		5時42分	新潟県	3	1	1	1	0		
11		6時19分	神奈川県	16	0	0	0	16	×	
12		6時34分	長野県	32	0	1	3	28		
13		6時49分	千葉東方沖	2	0	0	1	1		
14		22時16分	福島沖	22	1	4	13	4		
15		22時25分	岩手沖	7	0	0	1	6		
16		22時27分	岩手沖	6	0	0	0	6	×	
17		23時35分	新潟県	25	1	0	0	24		
18		23時43分	岩手沖	3	0	0	3	0		
19		3月13日	8時25分	宮城沖	14	1	5	7	1	
20			10時26分	茨城沖	9	0	2	4	3	
21		3月14日	10時02分	茨城沖	11	1	5	5	0	
22	15時52分		長野県	9	0	0	3	6		
23	16時25分		長野県	6	0	0	0	6	×	
24	3月15日	1時36分	長野県	6	0	0	0	6	×	
25		5時34分	長野県	12	0	0	0	12	×	
26		7時29分	秋田沖	31	0	0	1	30		
27		22時31分	山梨県	7	4	3	0	0		
28	3月16日	2時41分	茨城沖	9	0	0	0	9	×	
29		12時23分	茨城沖	7	0	0	0	7	×	
30		12時52分	千葉東方沖	3	1	2	0	0		
31	3月17日	21時32分	千葉東方沖	8	0	4	0	4		
32	3月19日	6時19分	栃木県	6	0	0	0	6	×	
33		8時34分	秋田県	6	0	1	2	3		
34		18時56分	茨城県	4	1	3	0	0		
35		18時57分	栃木県	6	1	5	0	0		
36	18時57分	茨城県	7	2	5	0	0			
37	3月20日	14時20分	宮城沖	35	0	0	1	34		
38	3月22日	12時38分	福島県	34	0	1	7	26		
39	3月23日	1時12分	栃木県	15	0	0	1	14		
40		7時12分	福島県	3	1	2	0	0		
41		7時36分	福島県	3	1	2	0	0		
42		8時47分	千葉東方沖	11	0	0	0	11	×	
43	3月25日	20時36分	岩手沖	11	0	4	6	1		
44	3月27日	19時23分	茨城県	6	0	0	0	6	×	
45	3月28日	7時24分	山形沖	20	1	7	11	1		
46	4月1日	19時49分	秋田県	3	1	1	1	0		
47	4月3日	16時39分	茨城県	30	0	2	2	26		
48	4月4日	18時29分	千葉東方沖	7	0	0	0	7	×	
49	4月7日	23時33分	宮城沖	28	15	11	2	0		
50	4月11日	17時16分	福島県	13	10	3	0	0		

51		17時26分	福島県	3	1	0	2	0	
52	4月11日	18時05分	福島県	3	0	3	0	0	
53		20時42分	福島県	3	1	2	0	0	
54		8時08分	福島県	43	1	7	10	25	
55		8時09分	福島県	3	0	1	1	1	
56	4月12日	10時24分	福島県	3	0	0	0	3	×
57		12時21分	千葉東方沖	5	0	0	0	5	×
58		14時07分	福島県	15	4	7	4	0	
59		16時14分	長野県	20	0	0	0	20	×
60	4月13日	10時08分	福島県	33	1	5	8	19	
61		6時43分	宮城県	9	0	0	0	9	×
62	4月14日	12時09分	福島県	3	0	2	1	0	
63		20時24分	岩手沖	24	0	0	2	22	
64		21時24分	福島県	1	0	0	1	0	
65	4月15日	23時34分	福島県	8	0	0	0	8	×
66	4月16日	11時19分	栃木県	11	4	5	2	0	
67	4月19日	4時14分	秋田県	3	1	0	1	1	
68	4月19日	6時34分	福島県	3	0	0	1	2	
69	4月21日	22時37分	千葉県	9	1	3	5	0	
70	4月24日	20時50分	福島県	15	0	0	1	14	
合 計				825	76	117	131	501	17

凡例:

黄色の行: 同時に発生した地震を分離して処理できずひとつの地震として処理したために、適切に発表できなかった事例(32回)

灰色の行: 停電や通信回線の途絶のため使用できる地震計の数が減少したことや、震源の推定、震度の予想の誤差などにより適切に発表できなかった事例(12回)

水色の行: 概ね適切に発表した事例(26回)

(注) 評価に使用している観測した震度については、速報値を使用していますので、後日、修正する場合があります。

〜 なまずきんの働き (2011年4月) 〜

【発信数概要】

3月11日14時46分頃に発生した東北地方太平洋沖地震(M9.0)により、岩手県から千葉県の沿岸及び東方沖を震源とする領域で4月も極めて多数の余震が発生しました。気象庁によると5月6日15時現在の規模別の数は、M7.0以上が5回、M6.0以上が76回、M5.0以上は444回となっています。また、余震域周辺域においても、巨大地震の発生により誘発されたと考えられる地震活動が依然活発で、とくに陸域で発生した場合は、震度5弱以上の強い揺れが観測されています。

緊急地震速報が発信された地震は、警報は26

個、予報742個で発信の総数は約4,277通でした。先行運用が始まった2006年(平成18年)8月から今月までの月平均データと比較しますと、地震数、発信数とも約15倍の多さでした。

緊急地震速報で予測震度4以上と報じた地震は約140個で、平均的な数の25倍でした。

また、予測震度3と報じた地震は約195個でした。

Table.1には2011年4月に震度4以上と予測された、あるいは観測した地震数、また、Table.2には緊急地震速報で最大震度が3と予測された地震数を示します。

Table.1 震度4以上と予測された、または観測した地震(2011年4月1日~30日)

	予測震度4以上の発表回数	警報発表回数
東北地方太平洋沖地震と余震	約130回	23回
その他	約10回	3回

Table.2 緊急地震速報で最大震度が3と予測された地震(2011年4月1日~30日)

	予測震度3の発表回数
東北地方太平洋沖地震の余震	約170回
その他	約25回